

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

目 次

1. 総務課

①法人運営事業	1
②包括支援センター職員派遣	3

2. 地域福祉課

①高齢者スポーツ事業	4
②共同募金配分事業	5
③ボランティアセンター事業	7
④福祉サービス利用支援事業	9
⑤生活・介護支援サポーター養成事業	10
⑥介護予防アクティビティ教室	11
⑦ふれあいプラザ二勢(施設の管理)	12
⑧シルバーハウジング生活援助員派遣事業	13
⑨筋力向上トレーニング事業	14
⑩社会福祉法人連携による「地域における公益的な取組」	15
⑪当事者団体の支援	16
⑫生活支援体制整備事業	17

3. 介護福祉課

①障害者福祉サービス事業	18
②有償運送事業	19
③電話訪問事業	19
④訪問介護事業	20
⑤居宅介護支援事業	21

4. 児童福祉課

①輪島市もんぜん児童館	22
②ジュニアボランティア事業	23
③放課後児童健全育成事業(児童クラブ)	24
④子育て支援、食育、学習支援事業等	26

5. 暮らしサポートセンターわじま

①生活困窮者自立相談支援事業	27
②生活困窮者福祉資金貸付事業	29
③就労準備支援事業	30
④家計改善支援事業	31
⑤職業紹介事業	31
⑥生活福祉資金貸付事業	32
⑦北山貸付事業	32
⑧心配ごと相談事業	33

6. 災害ボランティアセンター

①災害ボランティアセンター運営連絡会	33
--------------------------	----

その他の各種福祉推進事業

1. 出前福祉講座	35
2. 職員の研修状況	36

事業実施報告

1. 総務課

①法人運営事業

年間目標				
社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンス・事業運営の透明性・財務規律の強化を図り、安定した法人運営を行う。				
実 績				
法人経営基盤の強化・充実				
・理事会、評議員会の開催回数 (単位：回)				
	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
理事会	3	5	5	2
評議員会	4	4	3	2
・評議員選任・解任委員会の開催 開催日：平成31年2月25日 内 容：評議員の選任について				
・監事による監査の実施 平成29年度の事業報告等について平成30年5月28日監事2名による決算監査を受けたところ、適正であるとの意見であった。				
・ITを活用した業務改善の取組 勤怠管理システムでの管理範囲をふれあいプラザ二勢、もんぜん児童館及びもんぜん児童クラブへも拡大した。				
・自主財源の確保				
①社協会員制度の理解と加入促進（一般・特別・賛助会費）（件数・実績額）				
	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
一般会費 (世帯)	9,478 件	9,496 件	9,196 件	9,017 件
	1,907,020 円	1,907,000 円	1,842,100 円	1,803,500 円
特別会費 (企業・団体)	53 件	55 件	49 件	49 件
	411,000 円	464,000 円	396,000 円	401,000 円
賛助会費 (個人)	168 件	170 件	147 件	144 件
	182,700 円	186,700 円	183,700 円	178,700 円
合計金額	2,530,360 円	2,557,720 円	2,421,800 円	2,383,200 円
※実績額の10%を地区社会福祉協議会へ還元				

②寄附金の状況

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
件数	10 件	33 件	28 件	20 件
金額	489,751 円	852,902 円	691,279 円	555,113 円

・その他の寄附

福祉活動車の寄附

寄附車輛：スズキ アルト

寄附者：一般社団法人生命保険協会石川県協会

受贈日：平成 30 年 11 月 30 日

③自動販売機手数料の状況（本所及びふれあいプラザ二勢）

平成 30 年度中収入済額

設置場所	販売手数料額
本所	30,071 円
ふれあいプラザ二勢	2,429 円
合計	32,500 円

福祉の啓発・広報活動

・輪島市社会福祉大会の開催

①開催日：平成 30 年 8 月 9 日

②会 場：輪島市文化会館

③内 容：式典 社協会長表彰 個人 40 名、2 団体

活動報告、講演

・越後屋版社協だより 年 9 回発行（6 月と 10 月と 2 月除く）

毎月の弁護士相談やカウンセリング、社協の事業について周知を行った。

・社協だより 年 3 回発行（6 月 No25、10 月 No26、2 月 No27）

全ページカラーにしページ構成を見直した。市民から見やすくなったと好評であった。

・ホームページ

イベント情報等を随時更新した。

・フェイスブック

児童クラブの日々の様子や、ふれあいプラザ二勢の様子、イベントを掲載した。

読者数（いいね数）平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月の間に 158 人から 182 人に増加した。

- ・子育て応援アプリ のとノットアローンへの行事掲載
子育て中の母親向けウェブアプリ「のとノットアローン」にもんぜん児童館の行事を随時掲載した。
- 子育て中の母親の孤立防止とボランティア人口を増やすために今後も情報提供を続ける。

②地域包括支援センター職員派遣

年間目標
輪島市地域包括支援センターに職員を1名派遣し、地域住民の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上に寄与する。
実績
<ul style="list-style-type: none"> ・輪島市地域包括支援センターに職員を1名派遣した。 ・上記年間目標の達成以外にも、行政業務の執行に携わることにより職員の資質向上が図られたほか社会福祉協議会の本来業務である地域福祉に関し多くの知見を深めることができた。

2. 地域福祉課

①高齢者スポーツ交流事業

年間目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者スポーツ交流の実施（のと里山空港杯高齢者スポーツ大会） ・高齢者と障害者のさわやか運動会の実施 			
実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者スポーツ交流の実施（のと里山空港杯高齢者スポーツ大会） 			
年月日	場所	参加者数	成績
平成 30 年 5 月 8 日	のと里山空港多目的広場	27 人	スカットボール、フロッカー優勝 ディスクゴルフ準優勝 フロッカー、スカットボール 3 位
平成 30 年 10 月 10 日			28 人
<p>普段からふれあいプラザ二勢でニュースポーツを経験し練習する機会を作り、年 2 回開催する大会に自信を持って参加できるようにしている。近年、輪島市から優勝や上位入賞者が出ている。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と障がい者のさわやか運動会の実施 			
年月日	場所	総参加者数	
平成 30 年 10 月 19 日	一本松総合運動公園 サン・アリーナ	324 人	
(スタッフ、ボランティア含む)			
<p>老人クラブ連合会の会員が地域の閉じこもりがちな高齢者を誘い、運動会で楽しく体を動かしながら交流し新会員獲得にもつながるよう努めた。また、プログラムによっては高齢者と障がい者が手を取り合って行うものもあり、年齢、障害を越えて交流する場面がたくさん見られた。</p> <p>幼児との交流ではアトラクションで参加している保育園園児とのダンス等ふれあいの時間を持つことができた。</p> <p>近年、さわやか運動会は高齢者、障がい者の運動会にとどまらず、要約筆記、傾聴ボランティア、生活・介護支援サポーター養成講座修了者等のボランティアの積極的な関わりなしでは開催できない状況となっている。また、ボランティアの大切な活動の場となっている。</p> <p>ボランティアが高齢者や障害者を理解し地域での支援のきっかけになるよう、当日の役割分担等にも注意して企画している。</p> <p>この活動をきっかけに障害者施設で活動するようになったボランティアもいる。</p>			

②共同募金配分事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・募金運動の周知、協力依頼 ・輪島市社協への配分金内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 輪島市社会福祉大会の開催 2. 社協だよりの発行 3. 暑中見舞いのボランティアの実施 4. ボランティアフェスティバル輪島の開催 5. 子育て支援研修会の実施 6. 小学生の学習教室の開催
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・募金運動の周知、協力依頼 <ul style="list-style-type: none"> チラシの作成 (10/1 発行) 全戸配布協力依頼 赤い羽根だより (2/1 発行) 全戸配布実績紹介 インターネットによる掲載 <ul style="list-style-type: none"> 赤い羽根データベースはねっと 輪島市共同募金委員会の助成情報紹介 ・共同募金配分金による事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> 1. 輪島市社会福祉大会の開催 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> とき：平成30年8月9日 ところ：輪島市文化会館大ホール 民生委員・児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会に案内送付。展示コーナー設置については協賛施設との連絡調整をした。 2. 社協だよりの発行 (P2 法人運営事業に記載) 3. 暑中見舞いボランティアの実施 (P7 ボランティアセンター事業に記載) 4. ボランティアフェスティバル輪島の開催 (P8 ボランティアセンター事業に記載) 5. 子育て支援研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 地域研修会「子どもと向き合う上で大切なことって何だろう？」 とき：平成31年2月23日 ところ：ふれあい健康センター 講師：笠合 竜明氏 参加者：17名 (保護者、保育関係者、子育てボランティア) 参加者からは「子どもの個性と上手に付き合い、前向きな子育てをしていきたい」と感想があり、子育てを楽しむコツをみんなで考える機会になった。

6. 小学生の学習教室の開催（理科教室 社会科見学）

①夏休み体験理科教室「ミクロの世界をペットボトルで」

とき：平成30年8月2日、3日 ところ：社協会議室

講師：島崎 賢司氏 参加者：9名

ペットボトルで顕微鏡を作ったり、いろいろな観察器具を使い対象物の観察を行った。児童が理科に親しみ、夏休みの自由研究につながった。

②小学生の社会科見学「輪島の歴史探検天領角海家と北前船」

とき：平成30年11月24日 ところ：天領黒島角海家 北前船資料館

講師：島崎 賢司氏 参加者：7名

天領角海家と北前船について学んだ。自分たちのふるさとに命をかけて全国で活躍した人を知り、輪島の歴史文化に触れる体験となった。

7. 新しい募金手法「テーマ型募金」への取り組み

「テーマ型募金」全国的に年々戸別募金が減少する中、地域住民が理解、共感、賛同する地域課題には募金が集まる傾向にあるということで平成29年度から導入された新しい募金。

平成28年度から子どもを地域で見守り、食や学習支援を通してこどもの居場所づくりのために社会福祉協議会に於いて取り組んでいる、「わもっそ・子どもレストラン」について輪島市内における募金のテーマとすることを平成31年1月31日、輪島市共同募金委員会に諮り承認された。

一般募金が終了した1月以降準備を始め、委員会承認後の2か月間（2～3月）の街頭募金、募金箱の設置等を行った結果、171,038円の募金が令和元年度の活動費として集まった。

令和元年度は5地区（輪島、門前、鶴巣、町野）で38回実施を予定しているが、来年度に向けた募金活動計画の立案、募金活動も実施していく予定。

③ボランティアセンター事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア全国フォーラム（長野県）に参加し、全国のボランティアの方々と情報交換する。 ・能登北部地域ボランティアとの連携を深めるため、交流会と研修会を実施する。 ・ボランティアに暑中見舞いハガキ作成を依頼し、市内全域高齢者の方を対象に送る。 （1,300枚作成目標） ・ボランティア育成・資質向上のための研修会を開催する。 ・ボランティア同士の顔見知りの関係構築の為、ボランティアフェスティバル輪島を開催する。 ・ボランティア活動に対し助成金を支出し活動を支援する。（サロン活動1カ所・配食サービス8地区）
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア全国フォーラム2018に参加 とき：平成30年11月3日～4日　　ところ：長野県　参加者：7人 ボランティアを含めた地域づくりの講演会やシンポジウム、分科会に参加し、全国から集まったボランティア同士の情報交換や交流の機会となった。ボランティアフェスティバル輪島にて情報提供を行いボランティア活動の活性化につなげた。 特に平成30年度は若い世代のボランティア活動を意識し、航空大学校学生2名の全国フォーラムへの参加費を助成した。参加後、学生が市ボランティアフェスティバルで全国フォーラムの報告コーナーを作成したり、こどもレストランの支援に参加する等活動につながっている。 ・能登北部地域ボランティア連絡会 とき：平成30年11月8日　　ところ：能登町役場4階大ホール 参加者：能登北部管内計119人 講演会「地域の支え合いボランティア活動について」 各市町のボランティア活動発表があり、ボランティアの他市町での活動に広がった。 ・暑中見舞いボランティアの開催 とき：平成30年5月～6月　　参加者：計224人 場所：ボランティアルーム（6回）、輪島高校、門前高校、輪島中学校、市内児童クラブ、児童センター、もんぜん児童館、ふれあいプラザ二勢 子どもから大人まで葉書作りを通じ交流を深め、ボランティア活動に参加する機会となった。完成した葉書1,205枚は民生委員児童委員を通じて市内75歳以上1人暮らし高齢者へ届けた。

- ・ボランティア講座「ボランティアとは」の開催（回数：4回 参加者：計112人）
航空大学校、4/26 輪島高校、6/11 3回
- ・輪島市ボランティア連絡協議会への支援
役員会及び理事会 とき：平成30年6月22日 場所：輪島市文化会館 参加者：15人
総会 とき：平成30年7月25日 場所：輪島市文化会館 参加者：17人
ボランティア連絡協議会の年間計画立案やフェスティバル開催時の計画、実施について支援した。
- ・ボランティアフェスティバル輪島の開催
とき：平成30年11月10日 場所：輪島市もんぜん会館 参加者：101人
グループの活動発表、講話、フリータイム（喫茶・販売・展示コーナー）等を通してボランティア同士の交流につながった。ウクレレ演奏と手話サークルの合同発表や、子どもたちの要約筆記体験等グループ同士の交流が実現した。フリータイムではボランティアの活動に対する意見交換が活発に行われた。
- ・ボランティア活動への助成
ぽっかぽかサロン 見守り訪問活動、独居高齢者対象の会食会の実施
サロンの開催12回、参加者：計186人

配食ボランティア 独居高齢者への配食サービスの実施
8グループ、実施回数：計47回 対象人数：計3,646人
- ・ボランティアコーディネート
相談25件、活動資金調達支援7件、航空大学校の地域交流活動への支援
- ・航空大学校ボランティアセンター立ち上げ
航空大学校内にボランティアセンターを開設した。
とき：9/27、10/25、11/29 16時～17時
対象者：航空大学生、教員 利用者：18人
内容：ボランティア活動に関心のある学生等が情報収集できる場づくり
情報提供 ボランティアセンターの組織や活動について
輪島市の状況、イベント、直近のボランティア募集について

活動に関する相談と調整（マッチング）
学生が希望する活動内容を把握し、活動募集機関と調整する。

④福祉サービス利用支援事業

年間目標					
<ul style="list-style-type: none"> 市福祉課、市健康推進課をはじめとする関係機関、くらしサポートセンターわじまなどと連携し、支援が必要な人と着実に契約を行う。 地域に出向き自ら支援を求めて来ない人の困りごとを発見するとともに制度の周知を図る。 生活支援員登録者数を増やす(H29年度 8名 ⇒ H30年度 12名) 					
実績					
<ul style="list-style-type: none"> 契約件数の増加 					
【年度別対象者別契約人数】 (単位：人)					
	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
H26	9	1	3	0	13
H27	10	1	4	0	15(5)
H28	12	1	3	1	17(8)
H29	12	1	4	1	18(4)
H30	12	1	5	2	20(5)

※その他：脳血管疾患後遺症による高次脳機能障害等
※（ ）は新規契約者

平成30年度利用者の状況

- 認知症
- 知的障害
- 精神障害
- その他

福祉サービス利用支援事業 年度別利用者状況

単位：人

H26 H27 H28 H29 H30

認知症
 知的障害
 精神障害
 その他
 内生保数

- 地域に出向き制度の周知を図るため各地区で行われている「いきいき百歳体操」後のサロンで出前講座を行った。(出前講座参照) 実施数 13回 参加人数 128人
出前講座後、参加者から気になる人の相談を受け、契約に至ったケースが1件あった。
- 生活支援員登録数については30年度目標12人達成できた。ここ最近の割合で利用者が増えていくのであればしばらくはこの人数で対応が可能であると思われる。
- 生活支援員との連携について
支援員の訪問後の援助実施記録をチェックし対象者の状況把握に努めた。
特に体調不良等の記載がある場合、早急に受診できるよう親族や担当ケアマネに連絡した。
また、利用者が生活保護受給者の場合は市の担当者にも情報提供した。
- 利用者増加に対する組織体制を強化
困難ケースについては関係機関(福祉課、地域包括支援センター、能登北部保健センター)に随時相談し連携しながら対応した。
H30年度 サービス調整会議出席5回、地域ケア会議出席1回

⑥ふれあいプラザ二勢事業（指定管理）
 介護予防アクティビティ教室（介護予防教室）

年間目標																							
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して、認知症予防に効果的な音楽療法、下肢筋力向上体操、外出支援、セルフで行うフットケア、口腔ケアを継続的に行い、ADL（日常生活動作）を向上させることで身体の状態を維持する。 ・わじまケアネット連絡協議会が開催する研修会に参加し、職員の資質向上を目指す。 ・体操指導をする為の勉強会で技術を高める。 																							
実績																							
<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 120回（利用者一人につき月2回の実績） ・延べ人数 995名（実利用者数57名） ・内容（プログラム）について <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活動作の向上 <table border="0"> <tr> <td>下肢筋力向上体操実施回数</td> <td>120回</td> </tr> <tr> <td>口腔ケア・嚥下体操実施回数</td> <td>120回</td> </tr> <tr> <td>セルフで行うフットケア</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>調理実習</td> <td>20回</td> </tr> </table> 2. 認知症予防 <table border="0"> <tr> <td>脳トレ（計算ドリル等）実施回数</td> <td>120回</td> </tr> <tr> <td>音楽療法実施回数</td> <td>8回</td> </tr> </table> 3. ボランティアとの交流 2回 踊りの披露の他、プログラムを一緒にする中で交流した。 4. 生活支援 市内商店と連携し利用者の買い物を支援した。（魚、豆腐、パン等の移動販売） <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚・パン ヤクルト</td> <td>魚・パン ヤクルト</td> <td>ヤクルト</td> <td>豆腐</td> <td>ヤクルト</td> </tr> </tbody> </table> <p>アクティビティ教室利用者の他、市営住宅入居者も利用している。 利用日以外に電話で体調確認等し生活状況を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修 <p>輪島市介護予防事業所職員スキルアップ研修</p> <p>とき：平成30年12月12日 参加：職員3名</p> <p>内容：運動プログラムと口腔プログラムについて</p> 		下肢筋力向上体操実施回数	120回	口腔ケア・嚥下体操実施回数	120回	セルフで行うフットケア	20回	調理実習	20回	脳トレ（計算ドリル等）実施回数	120回	音楽療法実施回数	8回	月	火	水	木	金	魚・パン ヤクルト	魚・パン ヤクルト	ヤクルト	豆腐	ヤクルト
下肢筋力向上体操実施回数	120回																						
口腔ケア・嚥下体操実施回数	120回																						
セルフで行うフットケア	20回																						
調理実習	20回																						
脳トレ（計算ドリル等）実施回数	120回																						
音楽療法実施回数	8回																						
月	火	水	木	金																			
魚・パン ヤクルト	魚・パン ヤクルト	ヤクルト	豆腐	ヤクルト																			

⑦ふれあいプラザ二勢管理運営事業

年間目標																							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者の生きがい活動としての健康づくり教室と体操サロンを継続する。 ・多様な世代や人が交流できる機会や場所づくりを行う。 ・生きがい活動の拠点としてボランティアの受け入れを行う。 ・二勢町老人会の定例会補助を継続する。 ・地域防災の拠点となるよう「防災ハザードマップ」の掲示 																							
実績																							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者の生きがい活動としての健康づくり教室（自主事業）等の継続 <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室 延べ人数 822 人，実人数 41 人 体操サロン 延べ人数 623 人，実人数 26 人 持ち寄りサロン 延べ人数 218 人，実人数 35 人 卓球利用者 延べ人数 1,562 人，実人数 19 人 委託事業（介護予防教室）以外の施設利用者が増加している。 ・地域住民との交流を目的としたイベント <ul style="list-style-type: none"> シルバーハウジング交流会（団地交流会）を兼ねて 4 回実施した。 交流会を通じて防災の意識や、住民同士の安否確認の情報などが共有できた。 ・持ち寄りサロンのボランティア（近隣住民の居場所づくりと住民同士の交流を図る） <ul style="list-style-type: none"> 実施日数 56 日（毎月第 3 週目） 参加ボランティア人数 延べ 49 名 実人数 11 名 生活・介護サポーター養成講座修了生の活躍する場を設けられた。 ・その他ボランティアの受け入れ <table border="1" data-bbox="248 1301 1337 1491"> <thead> <tr> <th>とき</th> <th>ボランティア</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 30 年 8 月 10 日</td> <td>大屋児童クラブ 4～6 年生</td> <td>8 人</td> <td>ダンス披露、交流</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年 8 月 29 日</td> <td>樋谷氏</td> <td>1 人</td> <td>歌謡曲による踊り</td> </tr> <tr> <td>平成 31 年 1 月 4 日</td> <td>樋谷氏</td> <td>1 人</td> <td>歌謡曲による踊り</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>10 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 内容：歌やけん玉ダンスの披露、おやつ作り、レクリエーション、踊りなどのボランティア活動を通じて多様な世代が交流した。 ・二勢老人クラブの定例会支援 <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ活動支援（会場準備、体操指導など） 地域包括支援センターが推進している「いきいき百歳体操」教室の支援 49 回 介護予防に関心のある高齢者と合同に体操を実施したり、高齢者の手づくり展示作品鑑賞等を通して介護予防という視点で老人クラブと参加者同士の交流を促した。 ・防災マップの掲示 <ul style="list-style-type: none"> 施設周辺や町内の交通安全について話し合いができた。輪島市都市整備課との連携で道路の一か所にカーブミラーが設置された。 				とき	ボランティア	人数	備考	平成 30 年 8 月 10 日	大屋児童クラブ 4～6 年生	8 人	ダンス披露、交流	平成 30 年 8 月 29 日	樋谷氏	1 人	歌謡曲による踊り	平成 31 年 1 月 4 日	樋谷氏	1 人	歌謡曲による踊り	合計		10 人	
とき	ボランティア	人数	備考																				
平成 30 年 8 月 10 日	大屋児童クラブ 4～6 年生	8 人	ダンス披露、交流																				
平成 30 年 8 月 29 日	樋谷氏	1 人	歌謡曲による踊り																				
平成 31 年 1 月 4 日	樋谷氏	1 人	歌謡曲による踊り																				
合計		10 人																					

⑧シルバーハウジング生活援助員派遣事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課、健康推進課との情報共有に努める。 ・地域住民との交流を目的としたイベントを実施する。 年4回 ・生活援助員のAED操作訓練を実施し入居者の安心につなげる。 年1回
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課、健康推進課との連携内容 救急車、緊急ブザー対応についてはただちに対応し、対応内容について報告して必要時指導を受けている。また、訪問時に得た情報（体調不良、生活上の悩み等）については随時報告した。 ・地域住民との交流を目的としたイベント ボランティアの協力で4回実施 シルバーハウジング交流会（団地交流会） <ul style="list-style-type: none"> ① 平成30年 6月27日 心が軽くなる話（中島徳子氏） 参加者 16人 ② 平成30年 8月29日 介護予防体操・かき氷づくり 参加者 15人 ③ 平成30年12月14日 AED取扱い救急救命講習会（消防署）参加者 5人 ④ 平成31年 3月23日 茶話会 参加者 13人 ・毎日の訪問や、月1回の電話の安否確認で、安心や安全が得られるよう支援する。 訪問回数 873回 電話安否確認 延べ確認回数 335件 関係機関との連携 12件 誤報（ブザーの誤操作等） 21件 真報 0件 二勢町民生委員、福祉推進員と連携に努め、安否確認業務がスムーズになった。 ・生活援助員のAED取扱い訓練の実施 とき：平成31年12月14日 参加：職員3人 団地入居者の安心に繋げるためシルバーハウジング交流会を兼ねて実施した。

⑨筋力向上トレーニング事業

年間目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教室を1日2回（月、火、木、金の午前、午後）実施する。 ・住民に対し運動療法を啓発する広報を実施する。 ・理学療法士、作業療法士の医学的見地から個別指導を受け事業に取り組む。 ・運動器機能向上関連の研修会に参加し、職員の質の向上を目指す。
実 績
<ul style="list-style-type: none"> ・教室実施回数 370回 利用延べ人数 672人（実利用者数 27人） 市立輪島病院職員用に事業説明パンフレットを作成したことで、継続して病院職員からの紹介があった。退院後も引き続きリハビリできる環境を提供できた。 また、当施設に利用希望の相談をしてきた高齢者で利用が必要と思われる方には基本チェックリストを実施し結果を輪島市包括支援センター担当者に報告することで、サービス利用につながり利用者を増やすことができた。（6名） ・広報 筋力向上トレーニング教室のパンフレットを作成し、地域包括支援センターや輪島病院リハビリ室に配布した。 二勢町内会の回覧板を利用して筋力向上トレーニングや健康づくり教室の案内をした。 生活・介護支援サポーター養成講座修了生の茶話会にて事業の宣伝を行った。 市内各老人クラブの定例会に出席し、介護予防についての講話とともに周囲に筋力低下で外出困難な高齢者の紹介を頼んだ。 ・理学療法士、作業療法士の指導について 病院理学療法士にH30年度は24回指導を受けた。また必要時にはタブレット端末を利用して動画にて指導を受けた。（3回） ・研修について 介護予防アクティビティ教室職員研修参照 利用者にはサービス終了後も自宅で継続して取り組めるプログラムを指導している。 また自主事業「健康づくり教室」「持ち寄りサロン」への参加を促し、外出して地域と交流を続ける等の指導ができた。

⑩社会福祉法人連携による「地域における公益的な取り組み」

年間目標																																	
<p>市内にある 9 つの社会福祉法人が定期的に会合の機会を持ち、連携して市民のニーズにどのような取組ができるか協議し、計画実施していく。</p> <p>会議開催 3 ヶ月に 1 回 その他必要時に開催する。</p>																																	
実 績																																	
<p>社会福祉法人連携による「地域における公益的な取り組み」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会「輪島市における生活課題と支援について」 <ul style="list-style-type: none"> とき 平成 30 年 12 月 11 日 場所 輪島市社会福祉協議会 参加人数 15 名 内容 社会福祉法人弘和会理事長から社会福祉法人として実施している地域での取り組みについて話を聞いた。 ・出前講座 3 回 <table border="1" data-bbox="263 828 1364 1030"> <thead> <tr> <th>とき</th> <th>団体名</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> <th>出席社福法人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 31 年 2 月 4 日</td> <td>南志見地区民児協</td> <td>南志見公民館</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> </tr> <tr> <td>平成 31 年 2 月 7 日</td> <td>町野地区民児協</td> <td>町野公民館</td> <td>12 人</td> <td>6 人</td> </tr> <tr> <td>平成 31 年 3 月 12 日</td> <td>三井地区民児協</td> <td>三井公民館</td> <td>8 人</td> <td>6 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※準備会議 2 回</p> <table border="1" data-bbox="343 1120 1220 1276"> <thead> <tr> <th>とき</th> <th>会場</th> <th>出席社会福祉法人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 31 年 1 月 28 日</td> <td>輪島市社会福祉協議会</td> <td>6 人</td> </tr> <tr> <td>平成 31 年 3 月 4 日</td> <td>輪島市社会福祉協議会</td> <td>4 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容 地域の社会福祉法人の事業 市内高齢者、障害者サービス グループワーク</p> <p>支え手が減少している地域での見守り方法の工夫や生活の課題について民生委員の実際の声を聞くことができた。情報共有という点で要望があり、出席していた社会福祉法人が運営するケアマネジャーを通して市内ケアマネジャーに周知し民生委員との関係改善に向けて動くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登北部地域共生フォーラム（能登北部地域共生フォーラム実行委員会主催） <ul style="list-style-type: none"> とき 平成 31 年 2 月 6 日 場所 石川県立生涯学習センター能登分室講義室 参加者 110 人（うち 37 人輪島市からの参加） ※実行委員会 2 回出席（第 1 回平成 30 年 10 月 23 日 第 2 回平成 31 年 1 月 23 日） <p>支え合いについて能登北部に共通する支え手の減少という問題にどのように取り組むのか、先進地の工夫点や地域住民の意識改革等についての話を聞いた。</p> 					とき	団体名	会場	参加人数	出席社福法人	平成 31 年 2 月 4 日	南志見地区民児協	南志見公民館	6 人	6 人	平成 31 年 2 月 7 日	町野地区民児協	町野公民館	12 人	6 人	平成 31 年 3 月 12 日	三井地区民児協	三井公民館	8 人	6 人	とき	会場	出席社会福祉法人	平成 31 年 1 月 28 日	輪島市社会福祉協議会	6 人	平成 31 年 3 月 4 日	輪島市社会福祉協議会	4 人
とき	団体名	会場	参加人数	出席社福法人																													
平成 31 年 2 月 4 日	南志見地区民児協	南志見公民館	6 人	6 人																													
平成 31 年 2 月 7 日	町野地区民児協	町野公民館	12 人	6 人																													
平成 31 年 3 月 12 日	三井地区民児協	三井公民館	8 人	6 人																													
とき	会場	出席社会福祉法人																															
平成 31 年 1 月 28 日	輪島市社会福祉協議会	6 人																															
平成 31 年 3 月 4 日	輪島市社会福祉協議会	4 人																															

⑪当事者団体等の支援

年間目標
<p>(1) 本法人の地域福祉活動計画及び輪島市福祉計画や障害者計画の実現の為、身体障害者福祉協議会等、障害者団体や家族会等の当事者団体に対し様々な支援を行う。</p> <p>年2回 その他必要時</p> <p>(2) 障害者が地域で安心して住むことができるような支援 市内イベントへの協力（輪島市福祉大会、交流パーティ）</p> <p>(3) 障害者支援施設管理者や職員と日頃から連携をとり、業務の内容を理解し市内イベント等を通じて市民に周知する。 社協だより等</p> <p>(4) 活動内容の市民周知に関する支援 社協だより等</p>
実績
<p>(1) 輪島市身体障害者福祉協議会、戦没・水難遺族会の活動を年間を通して支援した。補助金申請、役員会等、特に身体障害者福祉協議会から事務局機能の支援について相談を受け対応した。</p> <p>(2) 障害者交流パーティ支援</p> <p>とき 平成31年1月26日</p> <p>場所 輪島市ふれあい健康センター</p> <p>参加人数 140名</p> <p>※準備会議 3回出席（平成30年11月27日、12月25日、平成31年1月16日）</p> <p>交流パーティの準備段階からプログラム等の企画作成に関わり、当日は地域の人達が障害について理解を深められるよう、参加者同士が交流を促すように心がけて進行した。</p> <p>(3) 相談業務に関して必要と思われるケースについて障害者施設管理者と連絡をとり事業の紹介をする等、障害者施設管理者と連携できる体制づくりに心がけている。また、ボランティア等の実施事業に関しては必要時、講師や施設見学等依頼を通して施設職員と顔の見える関係となっている。</p> <p>(4) 社協だより等での活動紹介</p> <p>わじま広報、越後屋を通じて交流パーティの様子を市民に周知する機会を作った。広報掲載を依頼し、校正に関わった。</p>

⑫生活支援体制整備事業

年間目標																														
<p>(1) 市内5地域において第2層協議体の立ち上げと第2層生活支援コーディネーター設置を支援する。</p> <p>(2) 第2層区域ごとの勉強会及び市全体を対象とした市民フォーラムを開催する。</p> <p>(3) 第1層協議体の立ち上げを行う。</p> <p>(4) 地域において生活支援・介護予防サービスを行う活動主体及び地域内の状況を把握する。</p> <p>(5) 第1層生活支援コーディネーターを配置する。</p> <p>(6) 第2層生活支援コーディネーターを管理指導する。</p>																														
実 績																														
<p>・市内9地区（町野、三井、鶴巣、西保、七浦、浦上、本郷、諸岡、阿岸）において、説明会募集方法の協議を行うためのコアメンバー会議を実施した。</p> <p>市内9地区のコアメンバー会議の後、区長、民生委員等地域の実情をよく知る方々を中心に事業の説明を行う説明会を開催した。</p> <p>コアメンバー会議及び説明会の開催日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>コアメンバー会議開催日</th> <th>説明会開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町野地区</td> <td>平成30年11月26日</td> <td>平成31年1月30日</td> </tr> <tr> <td>三井地区</td> <td>平成30年1月26日</td> <td>平成30年6月～7月</td> </tr> <tr> <td>鶴巣地区</td> <td>平成30年7月19日</td> <td>平成30年8月6日</td> </tr> <tr> <td>西保地区</td> <td>平成30年11月28日</td> <td>平成31年1月18日</td> </tr> <tr> <td>七浦地区</td> <td>平成30年12月4日</td> <td>平成31年2月8日</td> </tr> <tr> <td>浦上地区</td> <td>平成30年7月13日</td> <td>平成30年8月6日</td> </tr> <tr> <td>本郷地区</td> <td>平成30年10月15日</td> <td>平成30年11月19日</td> </tr> <tr> <td>諸岡地区</td> <td>平成30年7月17日</td> <td>平成30年8月23日</td> </tr> <tr> <td>阿岸地区</td> <td>平成30年11月21日</td> <td>平成30年12月14日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・勉強会及び市民フォーラムの開催</p> <p>勉強会 開催日：平成30年7月30日 場所：三井地区 講師：中村悦子氏</p> <p>市民フォーラム 開催日：平成30年12月16日 場所：輪島市文化会館 参加者数：139名</p> <p>・事業の進捗状況を踏まえ、委託者である輪島市と協議し、第2層協議体の立ち上げ、第2層コーディネーター設置支援、第1層協議体の立ち上げ、第2層生活コーディネーターを管理指導することは行わないこととした。</p> <p>・第1層生活支援コーディネーターとして社会福祉協議会職員2名を任命し、配置した。</p>	地区	コアメンバー会議開催日	説明会開催日	町野地区	平成30年11月26日	平成31年1月30日	三井地区	平成30年1月26日	平成30年6月～7月	鶴巣地区	平成30年7月19日	平成30年8月6日	西保地区	平成30年11月28日	平成31年1月18日	七浦地区	平成30年12月4日	平成31年2月8日	浦上地区	平成30年7月13日	平成30年8月6日	本郷地区	平成30年10月15日	平成30年11月19日	諸岡地区	平成30年7月17日	平成30年8月23日	阿岸地区	平成30年11月21日	平成30年12月14日
地区	コアメンバー会議開催日	説明会開催日																												
町野地区	平成30年11月26日	平成31年1月30日																												
三井地区	平成30年1月26日	平成30年6月～7月																												
鶴巣地区	平成30年7月19日	平成30年8月6日																												
西保地区	平成30年11月28日	平成31年1月18日																												
七浦地区	平成30年12月4日	平成31年2月8日																												
浦上地区	平成30年7月13日	平成30年8月6日																												
本郷地区	平成30年10月15日	平成30年11月19日																												
諸岡地区	平成30年7月17日	平成30年8月23日																												
阿岸地区	平成30年11月21日	平成30年12月14日																												

3. 介護福祉課

①障害福祉サービス事業

年間目標																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、知的障害、精神障害のある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。 ・きめ細やかな気持ちのこもったサービスを心がけ、利用される方の満足が得られるよう努める。 ・同行援護のサービスを提供する事で、安全に移動できるよう支援する。 ・代筆や代読のサービスを行い安心して生活できるよう支援する。 																																								
実 績																																								
平成 30 年度	居宅介護利用実人数 14 人 延人数 169 人 (月平均利用者数 14 人)																																							
	同行援護利用実人数 3 人 延人数 26 人 (月平均利用者数 2 人)																																							
<table border="1"> <caption>月別利用者数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>居宅介護</th> <th>同行援護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>5月</td><td>14</td><td>1</td></tr> <tr><td>6月</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>7月</td><td>14</td><td>1</td></tr> <tr><td>8月</td><td>13</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>10月</td><td>15</td><td>3</td></tr> <tr><td>11月</td><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>12月</td><td>14</td><td>2</td></tr> <tr><td>1月</td><td>13</td><td>3</td></tr> <tr><td>2月</td><td>14</td><td>2</td></tr> <tr><td>3月</td><td>13</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>		月	居宅介護	同行援護	4月	15	2	5月	14	1	6月	15	2	7月	14	1	8月	13	2	9月	15	2	10月	15	3	11月	14	3	12月	14	2	1月	13	3	2月	14	2	3月	13	3
月	居宅介護	同行援護																																						
4月	15	2																																						
5月	14	1																																						
6月	15	2																																						
7月	14	1																																						
8月	13	2																																						
9月	15	2																																						
10月	15	3																																						
11月	14	3																																						
12月	14	2																																						
1月	13	3																																						
2月	14	2																																						
3月	13	3																																						
<p>年1名の利用者増加目標に対しては、介護保険へ3名が移行したが新規利用者1名おり年間目標は、達成している。旧門前地区へもサービスを提供しており今後は、サービスが中々入らない地域へも積極的にサービスを提供していく。</p>																																								

②有償運送事業

年間目標																																								
市内在住で、公共交通機関の利用が困難な要介護者や障がい者を安全に有償で医療機関等へ送迎を行う。																																								
実 績																																								
平成 29 年度	利用延人数 1,459 人 月平均利用人数 121.5 人																																							
平成 30 年度	利用実人数 80 人 利用延人数 1,646 人 (月平均利用人数 137 人)																																							
<table border="1"> <caption>有償運送事業の月別利用延人数比較</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>113</td><td>116</td></tr> <tr><td>5月</td><td>118</td><td>124</td></tr> <tr><td>6月</td><td>130</td><td>158</td></tr> <tr><td>7月</td><td>122</td><td>145</td></tr> <tr><td>8月</td><td>118</td><td>129</td></tr> <tr><td>9月</td><td>116</td><td>122</td></tr> <tr><td>10月</td><td>121</td><td>143</td></tr> <tr><td>11月</td><td>121</td><td>124</td></tr> <tr><td>12月</td><td>109</td><td>149</td></tr> <tr><td>1月</td><td>132</td><td>154</td></tr> <tr><td>2月</td><td>114</td><td>136</td></tr> <tr><td>3月</td><td>145</td><td>146</td></tr> </tbody> </table>		月	平成 29 年度	平成 30 年度	4月	113	116	5月	118	124	6月	130	158	7月	122	145	8月	118	129	9月	116	122	10月	121	143	11月	121	124	12月	109	149	1月	132	154	2月	114	136	3月	145	146
月	平成 29 年度	平成 30 年度																																						
4月	113	116																																						
5月	118	124																																						
6月	130	158																																						
7月	122	145																																						
8月	118	129																																						
9月	116	122																																						
10月	121	143																																						
11月	121	124																																						
12月	109	149																																						
1月	132	154																																						
2月	114	136																																						
3月	145	146																																						
毎日かなりの距離を走行する事で、車両の老朽化もあり安全に利用者を送迎する為、今年度新しい車両を購入した。																																								

③電話訪問事業

年間目標	
在宅の高齢者が安心して暮らせる様見守り体制の強化と、孤立感の解消の為の傾聴活動を電話訪問により実施する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴研修を受けたボランティア 15 名が利用者 52 名に月 2 回電話訪問を実施する。 ・広く周知し、利用者の増加を目指す。 ・年 2 回ボランティアの交流会を開催する。 	
実 績	
<p>月 2 回傾聴ボランティアが申し込みのあった高齢者宅に電話を行い、孤立や孤独の防止を図った。また周知の為、電話訪問事業の説明を各地区民生委員会議等において行った。茶話会・連絡会を 2 回開催しボランティアの交流も行った。利用者数は新規申し込み者数 (9 名) より死亡や施設入所により辞めた方 (12 名) の数が上回り目標の 15 名増加に対して 3 名減の実績となった。</p> <p>ボランティアについては、2 名増加を目指していたが増加には至っていない。ボランティアの養成講習を受けても、電話訪問事業のボランティアには繋がっていない。</p> <p>今後も電話訪問事業の周知を行い高齢者が安心して暮らせるよう努めるとともにボランティアの増加に努めたい。</p>	
平成 30 年度	利用者数 4 月当初 55 名 3 月末 52 名 訪問延件数 1,257 件 ボランティア実人数 15 人 ボランティア延人数 245 人

④訪問介護事業（ヘルパーステーションほほえみ）

年間目標		
・利用者や家族が安心して自立した生活ができるよう支援する。		
・介護サービスの評価、研修等を通じて、職員や介護サービスの資質向上を目指す。		
・特定事業所加算Ⅱの業績を目指す。		
職員体制	常勤ヘルパー 4名、登録ヘルパー 5名	
加算	特定事業所加算Ⅱ	処遇改善加算

実 績

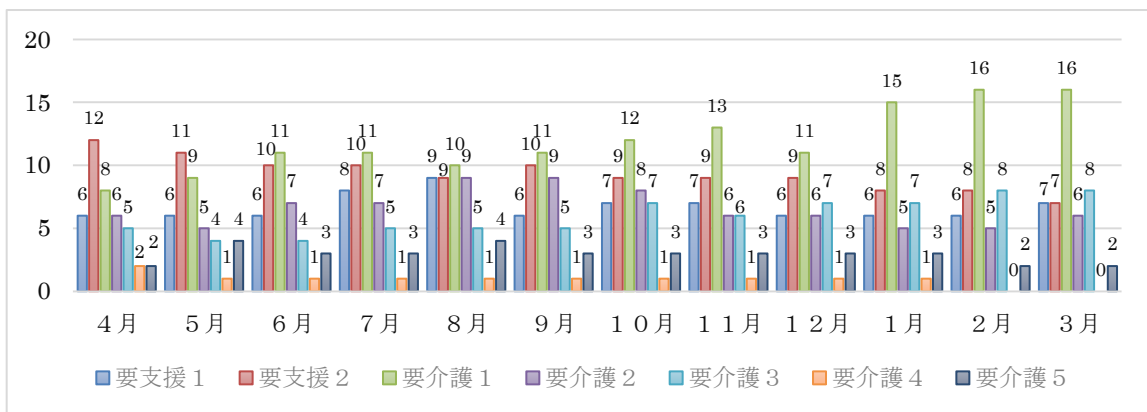
利用者が自宅で有する能力に応じた生活ができ、本人・家族が安心して自立した生活を送れるよう支援した。

平成 30 年度利用者数

要介護 1、2、3、4、5 339 人（月平均 28 人）

介護予防・日常生活支援総合事業（要支援 1、2）

192 人（月平均 16 人）

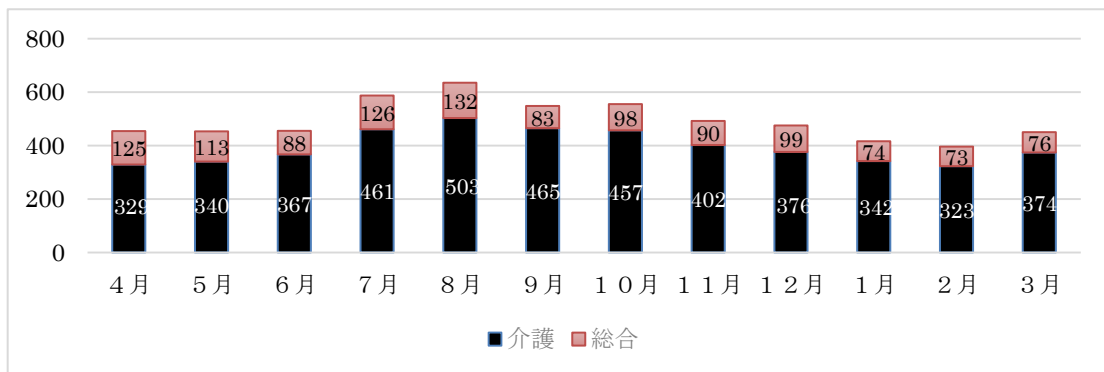


平成 30 年度訪問回数

介護 4,739 回（月平均 394.9 回）

予防・日常生活総合支援

1,177 回（月平均 98 回）



利用者の入院や入所、死亡により、利用者数の変動はみられるが、介護で利用者が月平均 5 名増加している。今年度は、サービス空白地域（町野地区）へのサービス提供も行っていく

⑤居宅介護支援事業（介護安心センター）

年間目標																																																																																																									
<p>利用者が住み慣れた地域で自立した生活ができるよう利用者の立場に立ったマネジメントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳と権利が守られ自立した生活がおくれるよう医療機関及び介護サービス事業所と連携を図りながら公正中立なサービスを提供する。 ・研修や、業務の評価、自己評価を通し、ケアマネジメントの質の向上を目指す。 ・職員体制 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>主任介護支援専門員</td> <td>3名</td> <td>（内1名他事業と兼務の為、0.5）</td> </tr> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>1名</td> <td>特定事業所加算Ⅲ</td> </tr> </table> 		主任介護支援専門員	3名	（内1名他事業と兼務の為、0.5）	介護支援専門員	1名	特定事業所加算Ⅲ																																																																																																		
主任介護支援専門員	3名	（内1名他事業と兼務の為、0.5）																																																																																																							
介護支援専門員	1名	特定事業所加算Ⅲ																																																																																																							
実績																																																																																																									
<p>利用者の立場にたち、公平中立なサービスの提供を行った。</p> <p>医療機関及び介護サービス事業所と連携し、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援を行った。</p> <p>介護支援専門員が0.5人増えた事により利用者数も増えたが、要介護4・5の利用者は、施設入所や小規模多機能利用により減少している。要支援1・2の方は、介護予防の普及により増えていると思われる。</p> <p>平成30年度</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>居宅介護利用者数</td> <td>年間1,308人</td> <td>月平均109人</td> <td>（29年度 983人 平均81.9人）</td> </tr> <tr> <td>年間訪問調査件数</td> <td>116件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年間訪問件数</td> <td>1,613件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年間相談件数</td> <td>70件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		居宅介護利用者数	年間1,308人	月平均109人	（29年度 983人 平均81.9人）	年間訪問調査件数	116件			年間訪問件数	1,613件			年間相談件数	70件																																																																																										
居宅介護利用者数	年間1,308人	月平均109人	（29年度 983人 平均81.9人）																																																																																																						
年間訪問調査件数	116件																																																																																																								
年間訪問件数	1,613件																																																																																																								
年間相談件数	70件																																																																																																								
<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>月別利用者数（推定値）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>要支援1</th> <th>要支援2</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>10</td><td>14</td><td>22</td><td>30</td><td>15</td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr><td>5月</td><td>14</td><td>14</td><td>25</td><td>30</td><td>12</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>6月</td><td>14</td><td>14</td><td>26</td><td>32</td><td>12</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>7月</td><td>15</td><td>15</td><td>26</td><td>29</td><td>12</td><td>6</td><td>9</td></tr> <tr><td>8月</td><td>16</td><td>16</td><td>27</td><td>30</td><td>14</td><td>6</td><td>9</td></tr> <tr><td>9月</td><td>17</td><td>17</td><td>26</td><td>29</td><td>14</td><td>5</td><td>7</td></tr> <tr><td>10月</td><td>16</td><td>16</td><td>27</td><td>29</td><td>14</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>11月</td><td>16</td><td>16</td><td>30</td><td>27</td><td>13</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>12月</td><td>17</td><td>17</td><td>30</td><td>26</td><td>12</td><td>4</td><td>8</td></tr> <tr><td>1月</td><td>18</td><td>18</td><td>29</td><td>25</td><td>14</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>2月</td><td>16</td><td>16</td><td>27</td><td>25</td><td>13</td><td>4</td><td>7</td></tr> <tr><td>3月</td><td>19</td><td>19</td><td>30</td><td>24</td><td>13</td><td>4</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>		月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	4月	10	14	22	30	15	7	6	5月	14	14	25	30	12	8	9	6月	14	14	26	32	12	7	7	7月	15	15	26	29	12	6	9	8月	16	16	27	30	14	6	9	9月	17	17	26	29	14	5	7	10月	16	16	27	29	14	5	8	11月	16	16	30	27	13	5	8	12月	17	17	30	26	12	4	8	1月	18	18	29	25	14	5	8	2月	16	16	27	25	13	4	7	3月	19	19	30	24	13	4	6
月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																																																																																																		
4月	10	14	22	30	15	7	6																																																																																																		
5月	14	14	25	30	12	8	9																																																																																																		
6月	14	14	26	32	12	7	7																																																																																																		
7月	15	15	26	29	12	6	9																																																																																																		
8月	16	16	27	30	14	6	9																																																																																																		
9月	17	17	26	29	14	5	7																																																																																																		
10月	16	16	27	29	14	5	8																																																																																																		
11月	16	16	30	27	13	5	8																																																																																																		
12月	17	17	30	26	12	4	8																																																																																																		
1月	18	18	29	25	14	5	8																																																																																																		
2月	16	16	27	25	13	4	7																																																																																																		
3月	19	19	30	24	13	4	6																																																																																																		

4. 児童福祉課

①輪島市もんぜん児童館事業

年間目標			
1. 地域で子育てに悩んでいるお母さんの相談を受けたり仲間や居場所づくりのサポート 2. 地域のことを考える人を育てる事業（協調性や自主性、福祉の心を育てる） 3. 誰もが主役になれる居場所づくり 4. 輪島の文化・伝統を次世代に伝える活動			
実績			
1 子育て中のお母さんの居場所づくりのサポート 育児サロン年間 139 回 186 組参加 ・ぱんだタイム 癒しのタッチケアやカフェ、シェイプアップやコラージュ講座 ・ミニほっとサロンやリサイクルバザー（協力 みらい子育てネット輪島）			
2 地域のことを考える人を育てる ・スポーツ教室（もんぜんスポーツクラブ）12 回（支援学校含む 364 名参加） ・フラダンス体験、ミニ夏祭り、クリスマス会（共催 みらい子育てネット輪島もこもこクラブ 178 名）地域の親子が児童館で交流、児童がスタッフとして活躍。 ・もんぜんダンスクラブの活動は 11 年目。地域活動年 6 回、地域に元気を届ける。 ・一人暮らしの高齢者への暑中見舞いはがき作り。 ・災害に備える、防災教室の実施。			
3 誰もが主役になれる居場所づくり ・宿題コーナーを設け、放課後の居場所作り。ランドセル来館の児童が利用。 ・科学あそびや工作、地元パン屋さんによるパン作り教室、門前の歴史探検等、児童が障害の有無に関わらず共に体験。興味関心、好きなことを発見する機会となった。			
4 輪島の文化、伝統を次世代に伝える活動（ふるさとを愛する心を育てる） ・アマメハギ来館（協力 皆月青年会）児童が地域の伝統文化に触れる機会 58 名 ・門前カルタ大会（協力 地域ボランティア）門前の地域や特色を知る機会 13 名 ・親子料理教室（協力 食生活改善推進員）地元食材で「よくかむ」テーマ 18 名			
もんぜん児童館来館者数			
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
乳幼児親子	2, 840	2, 179	2, 522
小学生	8, 811	8, 473	8, 272
中高生	170	156	246
ボランティア一般	689	874	667
合計	12, 510	11, 682	11, 707
子育てサロンぱんだタイムの実施により乳幼児親子が増加した。 中高生の利用が増えてきた。今後も中高生の利用促進が課題である。			

②ジュニアボランティア事業

年間目標		
地域ことを考える人を育てる事業。小学生が中心となり地域でボランティア活動を行う。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるようにジュニアボランティア講座で学び、助け合い共に生きることの大切さ、自分ができることは何か考え、行動する。		
実績		
ジュニアボランティア活動		
輪島地区（9件）		
開催日	内容	参加人数
5/19	クリーン大作戦 河井町をきれいにしよう	6
6/4	認知症サポーター講座 高齢者を理解する	23
7/27	能登就労支援事業所やなぎだハウス 手話で交流	7
8/10	ふれあいプラザ二勢 高齢者の介助とレクリエーション	10
8/24	ふれあいプラザ二勢 高齢者の介助とレクリエーション	10
10/27	赤い羽根共同募金街頭募金活動に参加	9
11/10	輪島市ボランティアフェスティバルで活動報告	5
12/8	点字であそぼう 点字に挑戦	8
2/16	輪島市立図書館で読み聞かせ	3
門前地区（11件）		
開催日	内容	参加人数
6/9	暑中見舞いボランティア手作りのハガキを送ろう	12
6/13	クリーン大作戦 門前町をきれいにしよう	33
8/3	もんぜんダンスクラブ 特別養護老人ホームあかかみ訪問	12
8/5	もんぜんダンスクラブ グループホーム楓の家訪問	12
9/2	もんぜんダンスクラブ 門前地区敬老会参加	12
10/6	もんぜんダンスクラブ 黒島交流まつり参加	12
12/25	こどものための防災 自分たちにできること	16
2/23	児童館にお花を植えよう	5
3/17	もんぜんダンスクラブ くしひ郷まつり参加	12
3/24	もんぜんダンスクラブ 雪割草まつり参加	12
3/26	能登半島地震から学ぶ 語り部、向さんから聴く	30
<p>H30年度は児童が「輪島市ボランティアフェスティバル」に参加、ジュニアボランティア活動報告を行い、一般ボランティアと交流をした。参加した児童からは「ボランティアにはたくさんの種類があってそれが誰かの助けになっていると知った」「みんなが助け合おうとやさしいまちになると思った」と感想があった。今後も多くの児童がボランティア体験できる機会を設けていきたい。</p>		

③放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

年間目標				
1. 安心安全の取組。防犯・防災教室、避難訓練を実施、 2. 遊びや体験を通じた心身育成の機会の実施。 3. 児童が自主的に計画し取組む活動や社会性を培う活動、創造性を培う活動の実施。 4. 宿題・学習サポートや輪島の伝統文化に触れる活動の実施。 5. 質向上のための取組。保護者に意見を聴く機会。研修会の実施。				
実績				
1. 安心安全の取組（来所、帰宅時の安全点検、不審者対応訓練の実施） 放課後児童クラブの児童安全点検リスト（厚生労働省より）を参考に点検を行い児童の安全確保に努めた。防犯対策として全児童クラブにさす又を設置、訓練を行った。				
2. 遊びや体験活動 科学教室「電気はどうつくられるか」「ペットボトル空気砲」の実施。 凧あげ、こま回し、あやとり、けん玉、手作りかるた大会等の昔遊びの体験や地域清掃活動、保育所交流会、梅干作り、豆腐作りを地域の方と共に体験。 花植え、メダカや亀の世話をすることで自然や命について豊かな心が育つよう努めた。				
3. 自主的に計画、社会性、創造性を培う活動（じどうクラブまつりの実施） 市内児童クラブと一五一笑、カブーレ放課後等デイサービスの児童が遊ぶ楽しさを共に体験。企画、進行、けん玉ダンスを児童が行う。民生委員児童委員、高校生、母子寡婦つくしんぼの会のボランティア参加も増え多世代が関わるイベントとなる。				
開催日	内容	場所	児童数	大人数
8/21	じどうクラブまつり	一本松総合運動公園サンアリーナ	290	110
4. 宿題、学習サポート、伝統文化にふれる活動 公民館学習教室との連携、長期休みの学習サポートにボランティアが入り学習できる環境づくりに努めた。地域の協力で茶道、大正琴、民話、アマメハギ等、伝統文化に触れる活動をした。ふるさとの良さに気づく体験となった。				
5. 質向上の取組 H30 までに県放課後児童支援員認定資格研修受講、放課後児童支援員資格取得者 23名 市内小学生の児童数は減少傾向にあるが、児童クラブの利用率は増加している。子育てに関する相談が増加する中、独自に職員研修を実施、利用世帯の困りごとに対応できるよう努めた。児童、家族の課題対応のため関係機関と連携し研修会を行った。				

児童クラブ研修会

開催日	研修会	講師	参加人数
11/26	対人援助の家族理解	寺本紀子氏	支援員 25
1/21	気になる子どもの育成支援	笠合竜明氏	支援員 22
1/31	多機関連携、家族支援	寺本紀子氏	関係機関 6 支援員 5

多機関連携、家族支援研修会は県スクールソーシャルワーカー、学校教育課、福祉課、発達支援室、児童クラブ支援員が参加、事例検討会を行った

市内児童数と児童クラブ利用者数推移

	H28年度	H29年度	H30年度
市内児童数	941	899	858
利用者数	305	314	334

児童クラブへの相談件数

	H28年度	H29年度	H30年度
相談件数	80	186	193

保護者、児童からの相談は増えている。

今後も児童と家族に寄り添い支援できるよう相談できる体制づくりに努める

H30年度児童クラブ利用者数

(最大利用者数)

	児童数 (うち障害児利用)
鳳至児童クラブ	45 (1)
鳳至第2児童クラブ	24 (1)
河井児童クラブ	49 (1)
河井第2児童クラブ	41 (1)
大屋児童クラブ	28 (1)
大屋第2児童クラブ	27
鶴巣児童クラブ	15 (3)
河原田児童クラブ	29
三井児童クラブ	19
もんぜん児童クラブ	28 (1)
南志見児童クラブ	8 (2)
まちの児童クラブ	21
合計	334 (11)

④子育て支援、食育、学習支援事業等

年間目標																
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり（食の提供、学習サポート、地域交流活動の実施） ・学習支援の実施 ・保護者支援のための講座実施 ・福祉出前講座の実施 																
実 績																
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> 「わ・もっそ こどものレストラン」（食の居場所と学習支援）の実施 <p>①実施期間：平成30年4月7日～平成31年3月3日</p> <p>開催数：28回 （輪島地区9回、門前地区9回、鶴巣地区4回、町野地区3回）</p> <p>参加者数：906人 （中央共同募金会を通じた大和ネクスト銀行「こども食堂普及（石川）応援定期預金」からの助成金、歳末助け合い募金からの助成金を受けて実施）</p> <p>こどもたちが食を通じて地域とつながること、自分でできるようになること（自立支援）を目的に活動。食後もボランティアが学習サポート、子どもたちを見守っている。地域に協力者も増え、つながりが広がった。こどもたちも出来ることが増え、自主的に考えて動けるようになってきた。</p> <p>②これまでの活動状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>食堂数</th> <th>開催数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>549</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>4</td> <td>28</td> <td>906</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開催地区が増え、開催数、参加人数も増えている。</p> <p>③平成31年度活動資金のため、平成30年度赤い羽根共同募金「テーマ型募金」活動に取り組む。</p> <p>取組期間：平成30年2月1日～3月31日</p> <p>募金総額：171,038円 （児童による街頭募金活動、企業、個人から）</p>	年度	食堂数	開催数	参加人数	H28年度	1	12	551	H29年度	2	15	549	H30年度	4	28	906
年度	食堂数	開催数	参加人数													
H28年度	1	12	551													
H29年度	2	15	549													
H30年度	4	28	906													

5. くらしサポートセンターわじま

①生活困窮者自立相談支援事業

年間目標			
生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度の実施			
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な問題のみならず、精神的な問題、家庭の問題、健康上の問題など複合的な問題を抱えた生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援する。本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援や就労支援等を実施し、経済的、社会的並びに日常生活的自立を促進する。 ・自立を支援するために、生活困窮者一人ひとりの状況と、支援に携わる人の思いを大切にしながら、信頼関係を構築し、的確なニーズを把握し、自己決定、自己選択の可能性を広く持てるように努める。 			
実 績			
くらしサポートセンターわじま			
新規相談数	26 件	(そこから契約に至った件数 3 件)	
延べ相談対応件数	1,025 件	(30 年度中に支援した人数 45 人)	
平成 31 年 3 月 31 日現在の契約数	21 件	(新規契約件数 3 件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係者会議 平成 30 年度 8 回開催 福祉課各担当（生活保護、障害等）との連絡、月次相談件数、新規相談件数の報告 ・支援調整会議 平成 30 年度 7 回開催 契約者の生活や就労状況に変化があった時等、福祉課各担当や関係機関（ハローワーク等）への連絡の為、実施し支援計画の見直し、評価、終結について意見交換を行った。 ・事業の啓発・普及（相談窓口としての周知を図る） 輪島市民生委員・児童委員協議会会長会議出席 10 回出席 会議後、民生委員から相談を受けることもあった。 ・研修会等 			
日 時	研修名	場 所	参加
平成 30 年 6 月 21 日	債権管理研修会「税滞納整理・債権管理・生活再建」について	金沢市勤労者会館	4 人
平成 30 年 7 月 3 日	生活困窮者自立支援に関する研修企画検討会	県庁	1 人

平成 30 年 8 月 24 日	生活困窮者自立支援法の一部改正について	県庁	1 人
平成 30 年 9 月 10・11・12 日	生活困窮者自立支援制度 家計相談支援事業従事者養成研修	東京都 全社協会議室	1 人
平成 30 年 10 月 3・4・5 日	生活困窮者自立支援制度 就労準備支援事業従事者養成研修	東京都 タイム 21 ビル	1 人
平成 30 年 12 月 5・6・7 日	自立相談支援事業者養成研修 後期・就労支援員課程	神奈川県全社 協福祉学院	2 人
平成 31 年 1 月 25 日	輪島市自殺防止対策会議	ふれあい健康 センター	1 人
平成 31 年 2 月 27 日	地域共生社会（発達支援、ひきこもり、 8050 問題）の課題解決について	輪島市役所	1 人
平成 31 年 3 月 3 日	障害者理解「障害者ということ」「障害 者を地域で支えるために～アセスメン トを深める視点とアプローチ」	奥能登行政 センター	2 人
平成 31 年 3 月 5 日	地域の力を活かした自立支援について	県青少年総合 研修センター	2 人
平成 31 年 3 月 10 日	社会的孤立が生んだ 8050 問題～地域社 会から家族の孤立を防ぐために～	富山県 総合福祉会館	2 人
平成 31 年 3 月 10 日	「貧困を知る」研修会 ・貧困ということ	金沢	1 人
平成 31 年 3 月 18 日	相談支援従事者専門コース別研修 「精神障害者支援」	金沢市異業種 研修会館	2 人
平成 31 年 3 月 14 日	ひきこもり対策ネットワーク会議	県こころの 健康センター	1 人

・関係機関との連携

福祉課、健康推進課、税務課、市民課、水道局、ハローワーク、ピアサポート北のと、北陸電力、医療機関等から情報提供や助言を受け、相談者の生活状況・健康状態等に
応じた支援を行う。

②生活困窮者福祉資金貸付事業

年間目標																																													
<p>困窮者への新たな貸付制度として、金融機関や他制度で借入が困難な者で、生活・就労に車が必要な方への「車購入支援資金」、進学・就職時に必要な資金を貸付できる「青春チャレンジ資金」を創設。貸付から返済計画・相談援助指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金の周知を図る。 ・資金の貸付から返済計画、その後の生活状況の見守り確認など、継続的に支援を行う。 ・生活困窮者自立支援事業の利用契約を締結し、必要に応じ家計支援・就労支援を行う。 																																													
実績																																													
<p>輪島市民生委員・児童委員協議会会長会議にて説明を行い、各民生委員・児童委員への周知をお願いする。また、青春チャレンジ支援資金のパンフレットを作成、輪島高校、門前高校の進路指導担当教諭と面談し支援資金の紹介を行った。</p> <p>社協だより 10月号・2月号に掲載し、市民への周知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度貸付件数及び償還金額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金の種類</th> <th>新規貸付件数</th> <th>貸付金額合計</th> <th>償還金額合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車購入支援資金</td> <td>0件(0名)</td> <td>0円</td> <td>191,000円</td> </tr> <tr> <td>青春チャレンジ支援資金</td> <td>8件(3名)</td> <td>1,498,000円</td> <td>265,000円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・事業開始(平成29年度)からの支援の実績累計 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資金の種類</th> <th>貸付世帯</th> <th>貸付理由</th> <th>貸付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">車購入支援資金</td> <td>障害</td> <td>就職活動のため</td> <td>470,000円</td> </tr> <tr> <td>母子</td> <td>通勤のため</td> <td>460,000円</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>通勤のため</td> <td>270,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">青春チャレンジ支援資金</td> <td>進学</td> <td>奨学金受給迄の生活費</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>進学</td> <td>入学金・前期学費</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>進学</td> <td>入学金・生活準備費</td> <td>390,000円</td> </tr> <tr> <td>進学</td> <td>受験費用・入学金</td> <td>1,120,000円</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>運転免許取得費用</td> <td>310,000円</td> </tr> </tbody> </table>				資金の種類	新規貸付件数	貸付金額合計	償還金額合計	車購入支援資金	0件(0名)	0円	191,000円	青春チャレンジ支援資金	8件(3名)	1,498,000円	265,000円	資金の種類	貸付世帯	貸付理由	貸付金額	車購入支援資金	障害	就職活動のため	470,000円	母子	通勤のため	460,000円	生活保護	通勤のため	270,000円	青春チャレンジ支援資金	進学	奨学金受給迄の生活費	400,000円	進学	入学金・前期学費	600,000円	進学	入学金・生活準備費	390,000円	進学	受験費用・入学金	1,120,000円	就職	運転免許取得費用	310,000円
資金の種類	新規貸付件数	貸付金額合計	償還金額合計																																										
車購入支援資金	0件(0名)	0円	191,000円																																										
青春チャレンジ支援資金	8件(3名)	1,498,000円	265,000円																																										
資金の種類	貸付世帯	貸付理由	貸付金額																																										
車購入支援資金	障害	就職活動のため	470,000円																																										
	母子	通勤のため	460,000円																																										
	生活保護	通勤のため	270,000円																																										
青春チャレンジ支援資金	進学	奨学金受給迄の生活費	400,000円																																										
	進学	入学金・前期学費	600,000円																																										
	進学	入学金・生活準備費	390,000円																																										
	進学	受験費用・入学金	1,120,000円																																										
	就職	運転免許取得費用	310,000円																																										

③就労準備支援事業

年間目標	
<p>就労に必要な実践的な知識・技能等が欠けているだけでなく、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方は、既存の雇用施策の枠組みでの支援にはなじまないため、就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の困難度（困り具合）に応じたプログラムを作成。生活リズムを整えるための基本的な生活指導と実践や、社会でのコミュニケーションを想定した応答訓練、就労に耐えうる身体づくり等を最長1年の期間を設け実施する。 ・ひきこもり者の社会参加のための機会をつくり、社会的孤立を解消する取り組みを実施する。 ・訓練の達成段階に応じて、就労体験・就労訓練を協力してくれる事業所に依頼する。 	
実 績	
平成 30 年度	新規契約件数 3 件
〃	延べ実施件数 18 件
〃	未契約支援件数 3 件（相談者実数 1 名）
<p>○就労準備支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務職に必要なワード、エクセルの基本操作の習得（3級取得）を目指す。（2件） ・就労にたえうる身体作りと、社会参加に必要なコミュニケーション能力を養うため、輪島カブールのスポーツジムを利用したプログラムを実施する。（1件） <p>○就労困難者の就労体験・実習を、輪島市内の事業者にも受けてもらえるようにと、厚生労働省の事業委託を受けている「大阪A'ワーク創造館」に依頼し、市内介護保事業施設に対し、研修会を開催。（11月20日）</p> <p>○職員が就労体験・実習用プログラムシートの作成指導を受ける。（12月19日）</p>	

④家計改善支援事業

年間目標	
<p>家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出したうえで、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行う。相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されることを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者毎の生活イベントを組み入れたキャッシュフロー表を作成し、中長期を見据えた、家計管理の見える化を行う。 ・滞納や債務の解消のため、必要な機関と協力し支援を行う。 	
実績	
平成 30 年度	新規契約件数 4 件
〃	延べ支援件数 33 件
〃	未契約支援件数 79 件(相談者実数 15 名)
<p>○家計改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種奨学金を受け進学した学生に対し、生活費の収支と学費等の積み立てを滞りなく行えるように、定期的に連絡を取り、状況を確認している。(1 件) ・チャレンジ資金にて自動車免許を取得し就職した者に対し、収入に応じた生活と返済ができるように、面談及び助言を行っている。(1 件) ・多額の滞納がある方に、返済計画を立て、滞らないように支援を行っている。(2 件) 	

⑤職業紹介事業

年間目標	
<p>就職を希望するが、障害特性・精神疾患等にて就職が困難な方、就労継続が困難な方に対して、理解ある企業と求職者を繋ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介所を開設し、3 社以上の企業求人を受付、就職に困っている求職者との仲介を行う。 ・就労準備支援事業と協働し、就労体験・就労訓練を受け入れてくれた事業所への雇用契約につながる支援を行う。 	
実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介所の開設申請 平成 31 年 3 月 8 日 石川労働局需給調整事業室に申請関係書類提出。 	

⑥生活福祉資金貸付事業

年間目標	
<p>石川県社会福祉協議会の貸付制度で、生活困窮者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにする。</p> <p>・貸付の相談から申請、決定後の返済計画までを相手の立場に立って随時実施。</p>	
実 績	
平成 30 年度	新規取次件数 3 件 貸付決定件数 3 件 (生活福祉資金教育費 2 件) (総合支援資金生活支援費 1 件)

⑦北山貸付事業

年間目標	
<p>生活福祉資金の貸付制度の該当にならない方で、緊急に生活資金が必要とされる方に対し必要な援助指導を行う事により、安定した生活を送れるようにする。</p> <p>・貸付の相談から申請、決定後の返済計画までを相手の立場に立って随時実施。</p> <p>・長期滞納者のうち、死亡・所在不明など返済が見込めない方の不能欠損処理を行う。</p>	
実 績	
平成 30 年度	新規貸付件数 13 件 〃 貸付金額合計 403,900 円 〃 償還金額合計 375,900 円
<p>○長期滞納者、貸付日の古い方から 5 名に対し訪問を行い、実態調査をする。</p> <p>①成年後見人が選定されており、返済可能と判断され完済された。</p> <p>②民生委員・区長などの聞き込みにより親族が判明し、所在確認を再開する。</p> <p>③10 年以上経過しており、遺族（相続人）が消滅時効の援用を申し出、時効成立。</p> <p>④民生委員、区長、近隣に聞き込むが所在不明。</p> <p>⑤借受人死亡を確認。相続人の所在不明が判明。</p> <p>結果、上記③、④、⑤の 3 名の不能欠損処理事務を進める。</p>	

⑧心配ごと相談事業

年間目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士による法律相談（年 16 回） ・カウンセラーによる相談（週 1 回） ・心配ごと相談（門前地区年 12 回） 			
実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 心配ごと相談（門前地区） 月 1 回、門前地区民生委員が門前公民館にて実施 弁護士相談 年 18 回実施 カウンセラーによる相談 毎週金曜日（44 回）実施 			
・年度別相談件数		単位：件	
	弁護士	カウンセラー	門前地区 民生委員
H28 年度	40	107	8
H29 年度	42	85	8
H30 年度	41	69	2

6. 災害ボランティアセンター運営事業

①災害ボランティア運営連絡会

年間目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害ボランティア運営連絡会を開催する。（年 3 回程度予定） 2. 市民に向けての広報活動を行う。 3. 災害ボランティアセンターの運営に関し、職員研修を行う。 4. 災害時職員参集マニュアル検証・確認をする。 			
実績			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害ボランティアセンター運営連絡会 年 3 回 委員 12 名 準備室員 4 名（社協） 災害時に災害ボランティアセンターの運営が円滑に行われるよう、日頃から連絡会で組織間の連携を図る <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 平成 30 年 7 月 13 日（木） 「平成 30 年度輪島市総合防災訓練と輪島市の現状」→防災対策課からの報告 「災害時の連携を考える全国フォーラム」→研修参加者からの報告 ・第 2 回 平成 30 年 8 月 26 日（日） 「輪島市総合防災訓練における災害ボランティアセンター運営訓練の実施」視察と評価 アウトリーチ（現地ニーズ調査）訓練参加者・門前地区住民 20 名 「災害ボランティアセンターについて」の説明。門前地区住民 40～50 名 			

- ・第3回 平成30年10月5日（金）

「災害時におけるメンタルヘルスについて」と題した講義

講師：公益財団法人日本YMCA同盟・大江 浩 氏

「平成30年7月豪雨災害に伴う災害ボランティアセンター派遣の報告」

報告者：石川県社協ボランティアセンター所長・古川 氏

2. 社協職員の研修会等参加状況

- ・平成30年6月12・13日「災害時の連携を考える全国フォーラム」 東京都1名
- ・平成30年9月17～22日「呉市災害ボランティアセンター派遣」広島県1名
- ・平成30年11月7・20日、12月12日「災害対策ボランティアセンター運営研修会」
金沢市3名
- ・平成31年2月4～6日「災害時視聴覚障害者支援リーダー養成講座」神奈川県1名

- ・職員による「災害ボランティアセンターについて」出前講座2回
防災訓練対象地区住民（門前地区）、日本航空大学校

3. 委員、担当者連絡先等、異動等により「災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」の記載事項一部変更を連絡会にて確認。

その他の各種福祉推進事業

1. 出前福祉教室

職員を講師として派遣し、講座や実習等を実施することにより、市民が福祉について理解を深める機会としました。

実施日	場所	内容
4月19日	西保公民館	安心のしくみ
5月11日	輪島市社会福祉協議会	社会福祉協議会の仕事
5月12日	ふれあいプラザ二勢	安心のしくみ
5月28日	本郷公民館	高齢者疑似体験
5月31日	皆月集会所	安心のしくみ
6月13日	黒島公民館	安心のしくみ
6月14日	大屋小学校	ユニバーサルデザイン 高齢者疑似、車椅子、ガイドヘルパー体験
7月22日	縄又集会所	社会福祉協議会の仕事
7月30日	町野公民館	安心のしくみ
8月9日	田村集会所	安心のしくみ
8月22日	大屋公民館	安心のしくみ
8月30日	観音町修養館	安心のしくみ
9月26日	城兼集会所	安心のしくみ
9月28日	あての木園	安心のしくみ
10月9日	鳳至公民館	安心のしくみ
10月12日	南志見公民館	安心のしくみ
11月8日	谷氏宅	安心のしくみ
11月13日	大屋小学校	点字講座
1月8日	町野公民館	ヘルパーの技術教えます(高齢者の排泄、衣服の着脱介助)
1月16日	門前支所	ヘルパーの技術教えます(高齢者の排泄、衣服の着脱介助)
1月25日	ふれあい健康センター	ヘルパーの技術教えます(高齢者の排泄、衣服の着脱介助)
2月12日	ふれあいプラザ鶴巣	安心のしくみ
2月13日	ふれあい健康センター	安心のしくみ
2月15日	鶴巣小学校	ユニバーサルデザイン、高齢者疑似、車椅子体験

2. 職員の出張及び研修状況

期日	出張内容	出張者
4月9日	子ども食堂寄附金贈呈式	事務局長
4月9日	くらしサポートセンター初回面会	くらしサポートセンター
5月8日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
5月9日	市町村職員等セミナー	事務局長
5月15日	第1回能登北部地域ボランティア連絡会	地域福祉課
5月18日	ボランティアコーディネーター学習会	地域福祉課
5月19日	家族システム論入門	介護福祉課
5月28日	措置入院者退院にむけての関係者会議	地域福祉課
5月29日	県内市町社会福祉協議会職員連絡協議会第1回理事会	地域福祉課
5月30日	子ども育成指導者研修会	児童福祉課
5月31日	基礎講座1「放課後児童クラブと支援員の役割」	児童福祉課
6月4日	子ども育成指導者研修会	児童福祉課
6月5日	県ホームヘルパー協議会第1回理事会、スキルアップ研修	介護福祉課
6月8日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
6月12日	基礎講座2 学童期の子どもの心の発達とその対応について	児童福祉課
6月12日～6月14日	第3回災害時の連携を考える全国フォーラム研修会	地域福祉課
6月20日	即効リーダーシップセミナー	介護福祉課
6月20日	生活支援コーディネーター養成研修会(入門プログラム)	介護福祉課
6月21日	債権管理研修会「税滞納整理・債権管理・生活再建」	くらしサポートセンター
6月22日	輪島市ボランティア連絡協議会役員会及び理事会	地域福祉課
6月24日	在宅医療・介護連携研修会	介護福祉課
7月3日	生活困窮者自立支援に関する研修検討会	くらしサポートセンター
7月4日	放課後児童クラブ団体連絡協議会 理事会総会	児童福祉課
7月10日	基礎講座3 放課後児童クラブの生活・遊びと支援員の役割	児童福祉課
7月12日	第1回市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局長
7月13日	県児童館連絡協議会第2回全体研修会	児童福祉課
7月25日	輪島市ボランティア連絡協議会総会・研修会	地域福祉課
7月27日	県老人クラブリーダー研修会	地域福祉課
7月～11月	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新研修A(全4回)	介護福祉課
8月1日～8月2日	障害者施設初任者研修	介護福祉課
8月9日	高次脳機能障害支援担当者研修会	介護福祉課
8月10日	介護職員向け高齢者虐待防止研修会	介護福祉課
8月22日	福祉教育セミナー	児童福祉課
8月24日	生活困窮者自立支援法の一部改正について	くらしサポートセンター

期日	出張内容	出張者
8月28日	認定調査員現任研修	介護福祉課
8月29日	児童虐待防止ネットワーク強化実践研修会	児童福祉課
8月31日	県共同募金会共同募金委員会職員等研修会	地域福祉課
8月～11月	主任介護支援員専門員更新研修(全9回)	介護福祉課
9月6日～10月25日	県放課後児童支援員認定資格研修会 全8日	児童福祉課
9月7日	サービス提供責任者研修会	介護福祉課
9月7日	県放課後児童支援員等研修 現場実践力向上 講義	児童福祉課
9月7日	子ども育成指導者研修会	児童福祉課
9月10日～9月12日	家計改善支援事業従事者養成研修	くらしサポートセンター
9月13日	県ホームヘルパー協議会サービス提供責任者研修会	介護福祉課
9月17日～9月22日	呉市災害ボランティアセンター職員派遣	事務局長
9月18日	福祉サービス利用支援事業基幹の社協専門員連絡会議	地域福祉課
9月14日	社会福祉法人経営講座Ⅲ人事管理研修	総務課 介護福祉課
9月20日	ニュースポーツ体験講習会	地域福祉課
9月21日	県放課後児童支援員等研修 現場実践力向上 事例検討	児童福祉課
9月21日	子ども育成指導者研修会	児童福祉課
9月25日	生活支援コーディネーター養成研修会	介護福祉課
9月26日	市町社会福祉協議会共同募金委員会トップセミナー	事務局長
9月26日	県ホームヘルパー協議会ブロック別研修会	介護福祉課
9月28日	輪島市老人クラブ連合会リーダー研修 施設視察	地域福祉課
10月2日	第17回「老人の日・老人週間制定記念」石川県知事杯グラウンドゴルフ	地域福祉課
10月3日～10月5日	就労準備支援事業従事者養成研修	くらしサポートセンター
10月5日	災害時のメンタルヘルス	全課
10月13日	相談援助職の記録の書き方	介護福祉課
10月13日～10月14日	発達障がい・知的障がい支援職員対象SSTファーストレベル	くらしサポートセンター
10月16日	発達障害と非行に関する教員等研修会	児童福祉課
10月19日	訪問介護計画・展開研修会	介護福祉課
10月20日～10月21日	第53回全国学童保育研究集会in神奈川	児童福祉課
10月23日	地域共生フォーラム第1回実行委員会	地域福祉課
10月25日	県老人クラブ大会	地域福祉課
10月29日	雇用・労働分野の助成金の案内	介護福祉課
10月29日	感染症予防研修会	児童福祉課
10月30日	第67回石川県福祉大会	全課
11月5日	みんなで見守り悪徳商法	介護福祉課
11月7日	災害ボランティアセンター運営研修会	事務局長 くらしサポートセンター
11月7日	基礎講座4 発達障害・気になる子・保護者の理解と支援	児童福祉課

期日	出張内容	出張者
11月8日	能登北部地域ボランティアのつどい	地域福祉課
11月10日	第16回全国児童館・児童クラブふくい大会	児童福祉課
11月11日	第35回石川県学童保育研究集会	児童福祉課
11月15日～11月16日	輪島市老人クラブ連合会リーダー研修	地域福祉課
11月18日	生活の中でできる認知症予防	介護福祉課
11月20日	災害ボランティアセンター運営研修	地域福祉課
11月20日	就労体験等プログラムづくりワークショップ	くらしサポートセンター
11月26日	対人援助職の家族理解 家族の構造を理解して支援しよう	児童福祉課
11月30日	第44回生命保険協会福祉募金贈呈式	事務局長 総務課
12月5日～12月7日	自立相談支援事業者養成研修 就労支援員課程	くらしサポートセンター
12月8日	福祉サービス利用支援事業基幹の社協専門員連絡会議	地域福祉課
12月12日	災害ボランティアセンター運営研修	地域福祉課
12月12日	介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修会及び 課題整理総括実践講座	介護福祉課
12月18日	働き方改革関連法説明会	総務課
12月19日	第2回市町老連会長・事務局担当者会議	地域福祉課
12月21日	子どもの居場所づくり事業市町担当者情報交換会事例発表	児童福祉課
12月25日	第22回がんばる老人クラブ知事表彰	地域福祉課
12月27日	福祉サービス専門員連絡会議・社会福祉協議会活動推進会議	地域福祉課
1月9日	雇用管理改善勉強会	介護福祉課
1月10日	社協職員研修 実践編2	介護福祉課くらしサポートセンター
1月18日	難病ホームヘルパー養成研修	介護福祉課
1月20日	地域共生社会における専門職の役割	介護福祉課
1月21日	気になる子どもの育成支援と環境整備	児童福祉課
1月25日	輪島市自殺対策会議	くらしサポートセンター
1月28日	第2回生活支援コーディネーター連絡会	介護福祉課
1月30日	無料職業紹介所の申請について	くらしサポートセンター
1月31日	多機関連携、家族支援の事例検討研修会	児童福祉課
2月4日～2月6日	災害時視聴覚障害者支援リーダー養成講座	地域福祉課
2月6日	能登北部地域共生フォーラム	地域福祉課
2月8日	ホームヘルパー協議会管理者研修会	介護福祉課
2月14日	福祉サービス専門員連絡会議	地域福祉課
2月19日	うつ病やうつ状態にある人の対応について	介護福祉課
2月21日	第2回能登北部地域ボランティア連絡会	地域福祉課
2月22日	福祉サービス利用支援事業生活支援員研修会	地域福祉課
2月26日	災害ボランティアセンター担当者会議及び研修会	くらしサポートセンター

期日	出張内容	出張者
3月3日	障害者理解「障害ということ」「地域で支えるために」	くらしサポートセンター
3月5日	福祉サービス利用支援事業基幹的社協専門員連絡会議	地域福祉課
3月5日	地域の力を活かした自立支援について	くらしサポートセンター
3月10日	「社会的孤立を生んだ8050問題」全国フォーラム	くらしサポートセンター
3月10日	貧困を知る研修会 貧困ということ	くらしサポートセンター
3月11日	第2回市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局長
3月14日	県ひきこもり対策ネットワーク	くらしサポートセンター
3月15日	相談支援従事者専門コース別研修「障害児支援」	事務局長 児童福祉課
3月18日～3月19日	相談支援従事者専門コース別研修「精神障害者支援」	くらしサポートセンター
3月22日	県ホームヘルパー協議会理事会	介護福祉課
3月22日	生涯現役介護ボランティア研修会	事務局長
3月25日	市町社会福祉協議会ボランティア連絡会	地域福祉課
3月26日	成年後見における診断書と本人情報シートの説明会	地域福祉課